

2001年度 国内奨学金受賞者

I. 一般奨学生

A. 大学院生 9名

Table with 6 columns: 氏名, 大学院, 研究科・専攻, 課程・学年, 推薦, 出身大学. Lists 9 graduate students and their details.

B. 学部生 5名

Table with 6 columns: 氏名, 大学, 学部・学科, 学年, 推薦, 出身高校. Lists 5 undergraduate students and their details.

II. 安井医学奨学生 1名

Table with 6 columns: 氏名, 大学院, 研究科・専攻, 課程・学年, 推薦, 出身大学. Lists 1 medical scholarship student.

III. ホームズ奨学生 1名

Table with 6 columns: 氏名, 大学院, 研究科・専攻, 課程・学年, 推薦, 出身大学. Lists 1 Holmes scholarship student.

IV. 社会福祉奨学生 4名

Table with 6 columns: 氏名, 大学, 研究科・専攻/学部・学科, 学年, 推薦, 出身大学. Lists 4 social welfare scholarship students.

二〇〇一年度国内奨学金受賞者

専攻分野と将来の希望

(提出論文概要)

【一般奨学生・大学院生】

アルツハイマー病関連因子 MARKの機能解析

植木 麻由美

高齢化社会への移行に伴い患者数が増加しているアルツハイマー病は、高度にリン酸化されたタウ(tau)の蓄積、ニューロン死が発症要因の一つと考えられている。これらの分子によるタウの異

状リン酸化とニューロン死の関係は証明されていなかった。しかし、1995年に Mandelkowitz によって発見された新規のtauリン酸化酵素 MARK(Microtubule affinity regulating kinase)は、アルツハイマー病患者の脳でリン酸化の度合いが高い tau をリン酸化し、微小管からタウを脱離させてしまう。また MARK を細胞に過剰発

中学生の友人関係期待における互恵性

大津 志保

身体的に著しく成長する思春期は、心理的にも不安定となり、「思春期危機」と呼ばれるようにさまざまな問題が起こりやすい。この時期に当たる中学生は、心理的援助の必要性が強く認識されて

結び目・空間グラフ論理

遠田 かず子

3次元空間に埋め込まれた円周の結び目を考える、その中に現れる(複数の円周は絡み目)という。円周と本質的に異なる結び目は無限に存在する。私は、対象を円周からグラフへ一般化した空間グラフというもの



奨学金贈呈式 1月12日 於アルカディア市ヶ谷

反意を引き起こし、精神的健康へ影響を及ぼすことが多くの先行研究においても確認されている。また、構築した目的分子と考えられる。その実験系を用いて MARK 阻害物質探索を行い、アルツハイマー病の治療薬あるいは予防薬開発を目指している。

の関係を解析し、この機能解析によりアルツハイマー病発症メカニズムの解明を目的としている。また、構築した目的分子と考えられる。その実験系を用いて MARK 阻害物質探索を行い、アルツハイマー病の治療薬あるいは予防薬開発を目指している。

植民地解放後の韓国における外国語としての日本語の受け入れ過程

河先 俊子

韓国は、36年間にわたって日本の植民地支配を受け、日本に対する警戒心の強い国として知られている。日本の経済進出や文化の流入に対しては、日本の覇権主義という警鐘が鳴らされ、日本の大衆文化は、未だ全面的に解放されていない。しかし、このような状況とは対照的に、日本語は、国交正常化に先立ち、一部の大学や日本語学校で学ばれ、1973年からは高等学校でも学ばれるようになった。その後、その後も日本語学習は拡大を続け、韓国は、世界中で最も日本語学習者が多い国となったのである。

現象に思える。かつて韓国語を抑制し、そのため排除されていた日本語が、なぜ再び受け入れられたのだろうか。その過程を明らかにすることができると、本人が日本語を教える側に立つときに留意しななければならない点を浮き上がらせると同時に、外国語学習が持つ普遍的な意義を考察する手がかりになると考えている。

高等植物の細胞壁再生過程における酸性ホスファターゼ(WP-II)の機能解析

海田 るみ

高等植物の細胞壁は細胞を包み込み、細胞のサイズや形を決め、成長をコントロールしている構造体である。細胞壁は細胞壁に特異的に存在するタンパク質(WP-II)に注目し、細胞壁構築のメカニズムを解き明かすことを目的としている。

私はこれまでに、WP-IIが細胞壁再生過程においてセルロースを細胞膜の表面に接着させる働きを有する可能性を免疫組織化学的研究法により報告した。さらに、遺

が十分できるようなシス
テムを自ら切り開いてい
きたいです。

「土と人、土と環境」を学ぶ

鳥 さとみ

私は滋賀大学の環境情
報コースに在籍し、環境
を専攻しています。文系
理系の分野にとらわれ
ず、多角的に環境につ
いて学んできました。特
に「土」に関するものに
興味を持ち、現在専門的
に勉強しています。

【安井医学奨学生】 老人保健事業による基本健康診査受診と 国保医療費との関連

竹内 清美

我が国は、1961年
に国民皆保険制度が導入
され、経済の発展と共に
国民の健康状態も改善
し、現在では世界第一の
長寿国となった。その一
方で近年の急激な少子高
齢化や医療の高度化によ
り、年々医療費は高騰し
続けています。しかし、今
後は長引く不況と景気低
迷で、右肩上がりの経済
成長は見込めず、保健・
医療を取り巻く財政はま
すます逼迫していく。こ
れからの時代は、限られ
た予算を効率的に運用す
るために、より費用効果
の優れた保健事業を選択
して展開していくことが
必要となる。

そこで、私はより良い
保健事業の考案に資する
目的で、愛知県人口35
万人都市市役所福祉保健
部の協力を得て、その都
市在住の国民健康保険加
入者を対象に、実際の個
人の医療費と健診受診の
有無との関連を、医療費
レセプトや市保管の健診
データより調査し、さら
に、同市民を対象に無作
為抽出による質問紙調査
を行って、基本健康診査
者・未受診者の生活習慣
の違いを調べた。その結
果、基本健康診査者の医
療費は未受診者に比べて
低く、また男性では基本
健康診査者は未受診者に
比べて運動習慣、食習慣
等の生活習慣が良好だっ
た。医療受診にはさまざ
まな交絡因子が関連して
おり、今回得られた結果
が必ずしも健診の効果と
は言い切れない。今後も
さらに検討を続け、健診
受診の効果の本質をより
明らかにして行く必要が
ある。

【ホームズ奨学生】

世阿弥伝書にみる鬼の能

澤野 加奈

室町時代、能の役者と
して活躍し、また多くの
伝書を残した世阿弥がい
る。現在私は、世阿弥の
伝書のなかで、特に
「鬼」の能がどのよう
に表現されていたのかを、
表記され、実際に演じら
れていたのか、というこ
とに興味をもって研究の
対象としている。

た「鬼」の内容が変遷し
ていることが分かる。そ
のため、世阿弥が伝書の
なかで「鬼」をどのよう
に表現していたのかを、
段階を追って確認してお
く必要があるだろう。
またこれからの研究と
しては、シテを鬼とする
作品を具体的に取り上
げ、それらの作品と、能
楽論との関係について
考察をすすめるつもり
である。

私は現在、「高齢者の
病態と血液の酸化性評
価」をテーマに実験を進
めている。
日本では今、人類史上
かつてない速度で高齢化
が進行しており、202
0年には4人に1人が65
歳以上の高齢者になると
いう予測もある。伸び続
ける老人医療費は医療保
険財政を圧迫し、予防医
学の重要性は一層高まっ
ている。このような状況
の中で、一人一人が個人
の自覚と責任で、健やか
な自立した長寿の達成を
目指すことが必要になっ
ている。

ナギに発生する病気のう
ち6割を占めるのがウイ
ルス性の鰓病である。こ
の病気の鰓の鰓弁の中央
に血管が入り、重症にな
ると体が赤くはれる。こ
の病気の原因となるウイ
ルスはアデノウイルスと
考えられており、存在も
確認されている。しか
し、分離はされておら
ず、このウイルスを分離
するために必要なウナギ
の鰓の血管内皮細胞がま
だ確立されていない。自
分はこの細胞の培養につ
いての研究をしたいと
思っている。この細胞が
確立され、ウイルスが分
離され、原因として特定
されればこの病気の対策
などの研究に移ることが
できるのである。

植物の生育や、地球環境
の保全だけが土の役割で
はないはずだ。人間が
田畑や庭で土に触れ、植
物を育てていく行為その
ものに意味を見出した
い、というのが私の研究
課題です。栽培や園芸活
動にはさまざまな効果が
期待できるのです。具体
的には、園芸療法や環境
教育に活かすことが考え
られます。

現代の病である生活習
慣病は個人の生活習慣に
依存することから、スポ
ーツクラブに通い健康食
品を摂るなどのさまざま
な手段により自己管理を
行う人が増えている。そ
の一方で、誤った情報や
女性の社会進出などによ
る無理なダイエットや、
若年女性の喫煙率増加と
いう社会現象も目立つよ
うになってきた。
そうした中、私は健康

個人の経験から医療シ
ステムに関心を持ち、1
997年から2000年
にかけてアメリカに3年
間留学し、法律とパブ
リックヘルス(公衆衛
生)とを学びました。当
初の留学の目的は医療に
かかわる法律を学ぶこと
でしたが、アメリカの
ロースクールにおいても
そのような分野はまだま
だ発展段階であったこと
から、パブリックヘルス
に入學し、医療制度の中
心に学ぶこととしまし
た。パブリックヘルスで
は、法律、医学、経済の

知識をバックグラウンド
とする学生や先生方が多
く、枠にとらわれること
のない学際的な研究に非
常に影響を受け、法律と
パブリックヘルスを融
合するような学際的な学
問を今後の研究の中心と
据えることとしました。

私は聴力障害者です。
幼い頃、口話法による訓
練を受け、普通学校に
通っていました。小学校
高学年から自分は周りの
人とは何か違うと感じ
始めました。しかし、自
分の発音に自信が持てず
になかなか立候補できな
かった放送委員になった
ことで、少しずつ自信が
持てるようになったと思
います。中学校で尊敬す
る同じ難聴の先輩に出会
い、その先輩の影響で生
活の内容が全く理解でき
ません。しかし学科の先
生と手話サークルのご協
力のおかげで、ほとんど
の授業にノートテイクを
つけていただくことがで
きました。社会福祉のパ
イオニアといわれる日本
女子大で多くのことを学
び、福祉のスペシャリス
トを目指します。

私について
高塚 美貴子

健康維持に大きく関わる 女性ホルモン

三重野 亮子

現代の病である生活習
慣病は個人の生活習慣に
依存することから、スポ
ーツクラブに通い健康食
品を摂るなどのさまざま
な手段により自己管理を
行う人が増えている。そ
の一方で、誤った情報や
女性の社会進出などによ
る無理なダイエットや、
若年女性の喫煙率増加と
いう社会現象も目立つよ
うになってきた。
そうした中、私は健康

医学教室に在籍し、生命
現象を分子・細胞生物学
の立場から学習し、生活
習慣の医学的な基礎知
識を学習すると同時に、
42カ国横断的に心筋梗塞
の危険因子を調査する
Inter-Heart Studyに参
加している。このような
学習と実践の中で、特に
私が注目するようになって
きたのは女性ホルモンの問
題である。
女性ホルモンの分子レ

室町時代、能の役者と
して活躍し、また多くの
伝書を残した世阿弥がい
る。現在私は、世阿弥の
伝書のなかで、特に
「鬼」の能がどのよう
に表現されていたのかを、
表記され、実際に演じら
れていたのか、というこ
とに興味をもって研究の
対象としている。

私は現在、「高齢者の
病態と血液の酸化性評
価」をテーマに実験を進
めている。
日本では今、人類史上
かつてない速度で高齢化
が進行しており、202
0年には4人に1人が65
歳以上の高齢者になると
いう予測もある。伸び続
ける老人医療費は医療保
険財政を圧迫し、予防医
学の重要性は一層高まっ
ている。このような状況
の中で、一人一人が個人
の自覚と責任で、健やか
な自立した長寿の達成を
目指すことが必要になっ
ている。

私は聴力障害者です。
幼い頃、口話法による訓
練を受け、普通学校に
通っていました。小学校
高学年から自分は周りの
人とは何か違うと感じ
始めました。しかし、自
分の発音に自信が持てず
になかなか立候補できな
かった放送委員になった
ことで、少しずつ自信が
持てるようになったと思
います。中学校で尊敬す
る同じ難聴の先輩に出会
い、その先輩の影響で生
活の内容が全く理解でき
ません。しかし学科の先
生と手話サークルのご協
力のおかげで、ほとんど
の授業にノートテイクを
つけていただくことがで
きました。社会福祉のパ
イオニアといわれる日本
女子大で多くのことを学
び、福祉のスペシャリス
トを目指します。

私について
高塚 美貴子

ウナギにおけるウイルス性鰓病

大嶋 千春

現在自分は、水産学科で主に水産生物の生理・

生態、それを取り巻く環
境について学んでいる。
今日、海は資源の乱獲や
汚染、地球温暖化にさら
され、養殖などの資源管
理型漁業をせざるを得な
くなった。その中で高密
度で飼育されたり、人
工的に作られた環境のも
とで飼育された魚介類
に、種々の病気が発生し
ている。これらの魚介類
は実際にわれわれの口に
入るものであり、魚の生
活だけでなく人間の生活
にも関わる問題である。
また、養殖魚の病気が生
産者の生活に直に影響を
与えるものである。
自分はこの魚の病気に
ついての、特に養殖でも
重要な位置にあるウナギ
の病気についての研究を
したいと思っている。ウ

△ I F U W ニュース

昨年8月に開催されたオタワ総会で、12カ国から立候補があった女性の地位委員会委員に、トップ当選を果たした房野桂さんに活動の様子を伺いました。

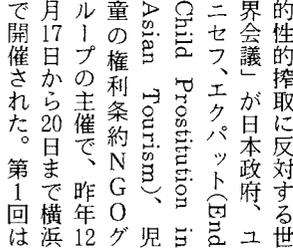
「房の露」とお粥を持って外国へ

I F U W 女性の地位委員会委員 房野 桂

1. I F U W 女性の地位委員会委員の役割は？ I F U W の研究計画 (S A A P) のテーマをどのように実行していくかを各国の連盟・協会に提案することが役割です。2001年から4年までのテーマは「Humanizing Globalization」ですが、これを教育、人間の安全保障、平和の文化、女性のエンパワーメント、人権「Humanizing Globalization」という六つのトピックに分けて6名の委員がそれぞれ一つのトピックを担当して、取るべき行動を提案します。私は平和の文化の担当になりました。行動の提案は I F U W のウェブサイトにポストされます。もう一つの役割は、総会でのセミナーやワークショップの企画と報告書の作成です。

フィンランドからの6名です。毎年1回ジュネーブで委員会があります。普段は、Eメールで緊密に連絡を取り合っています。目下宗教と文化の問題で頻りにメールが飛び交っています。3. 国際人としての房野さん、それでも日本人だと感じる時は？ 毎年国連関係の会議で数回外国に出かけますが、和食がないと体調が崩れる時です。毎回、成田の免税店で「房の露」という焼酎を仕入れ、梅干や海苔の佃煮、インスタントお粥を持って出かけます。

オタワ会議場での房野委員



児童買春の根絶を目指す世界会議 -世界中の子どもたちの幸せを祈って-

国内NGO委員会委員 中村 ミチコ

「第2回子どもの商業的搾取に反対する世界会議」が日本政府、ユニセフ、エクパット(End Child Prostitution in Asian Tourism) 児童の権利条約NGOグループの主催で、昨年12月17日から20日まで横浜で開催された。第1回は1996年8月にストックホルムで開かれた。今回の会議の焦点は、最新情報の収集や96年以後の進捗状況の確認に加えて、理解を深め、一層効果的な行動を提案すること等を目的としたものであった。会議には、38カ国の政府や21の国際機関、NGO 176団体で約3300人が参加した。開会式は、議長を務める田中真紀子外相が開会を流暢な英語で宣言し、高田宮妃殿下のご挨拶に続いてスウェーデンから参加したシルビア王妃のご挨拶があった。これらはスピーチで「子どもたちは私たちの未来。その子どもたちを商業的性的搾取することは人類に対する犯罪で、人類の将来への大きな損失だ」と話されたことが強く印象に残った。オープン・セッショントして基調講演には森山真弓法務大臣をはじめユニセフ、エクパット、子ども代表達からのスピーチがあった。4日間にわたってパネリスト・ディスカッションや約140のワークショップが並行して同時に行われた。その一つに、日本汎太平洋東南アジア婦人協会が18日の午前中に「子ども買春・規制と現状」子どもを商業的性的搾取から守るために」というテーマでシンポジウムを同時通訳付きで行った。パネリストに、清水澄子氏(第1回世界会議日本政府代表)、奥村徹氏(弁護士)、パム・ラジブツト氏(インド・パンジャブ大学教授)、スタラット・セリーワット氏(タイ国、児童買春の根絶を目指す会長)を招き、西立野園子氏(第53、54回国連総会政府代表代理)がコーディネーターを務めた。解決策は何かなど熱心に話し合いがなされ、会場からの質問等時間で超過する程盛り上ったシンポジウムであった。広い会場で、中村道子・江尻美穂子・房野桂・田中正子・高橋千夏・西芳子・松比良節子・関口悦子の皆さんほか数多く参加した。J A U W 会員の姿があった。殊にシンポジウムには大勢の方々が出席して非常に有意義な会になったことは大変よろこばしいことであった。第1回の世界会議からわずか3年で、日本では「児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律」が1999年11月1日から施行され、また「被害児童の回復のための国内行動計画」を策定したことも高く評価されているが、人権に置き置いていない点が、今後の課題として残っている。会議が終わって特に印象的であったことは、他国際会議では考えられないことだが、約100人の子どもや若者の代表も参加し、各国政府やNGOなどが一致して、真剣に問題解決に向けた行動を起こすことの重要性を訴えた提言を、最終日にまとめたことであった。児童の権利を尊重し、世界中の子どもたちが幸せになることを、切に祈りながらの4日間であった。

2001年度国際奨学生

「プリミッド」の国から長崎へ

国際奨学委員長 宮島 茂子



本年度の国際奨学金の応募者は奨学金の減額もあってか、例年より少なかったのですが、応募された3名(アメリカ、エジプト、インド)はいずれも優秀で、留学目的、留学先もしっかりしていて、選考には苦労しました。国際奨学金の基金は取り崩しができず、利子が一時的10分の1にも満たないので、今年度は取

りやめにしようという案もあったのですが、幸い1月に皆さんのおかげで開かれた天満敦子さんのリサイクルの利益を回していただけで、どうにか1名の方に奨学金を差し上げることができました。選ばれたエジプトのメルバット・フォグさん、写真IIは、9月30日に来日、長崎県立シーボルト大学看護栄養学部の奥恒教授のもとで2002年2月まで研究をされています。彼女はカイロのエインシャム大学農学部卒業以来国立研究センターで研究を続け、19

97年に同大学の環境問題研究所で、博士号を取得されました。研究の内容は彼女からのメールではよく分からず、奥教授に日本語の説明を送っていただきました。「乳児に授乳するとき、桶谷式でマッサージをすると乳質が良くなる。赤ん坊が満足することを経験的に知られていますが、本研究の目的は乳房マッサージによって乳質がどのように変化し、どの成分が乳児に良い影響をもたらすかを明らかにし、それを人工乳の質の向上に活かしたいとするものである」(以下省略) この詳細、成果については2月25日の報告会をお楽しみに。奨学金が少なくないこともあり、奥教授のご尽力で大学のゲストハウスを用意していただ

き、奥教授をはじめ、周りの方々から親切にしてください。大変ハッピーだとのこと。上京して大学婦人協会の皆さんにお会いするのを楽しみにしているそうです。

△ お知らせ

フォグさんの研究報告会を次のとおり開催します。事務所までお申し込み下さい。

日時 2月25日(月) 12時~1時30分 会食 2時~4時 報告会

場所 アルカディア市ヶ谷 (☎3261-9921)

会費 4千円(会食) 千円(報告会茶菓)

国際奨学委員会 東京支部共催

新春のつどい -国内奨学金贈呈式-

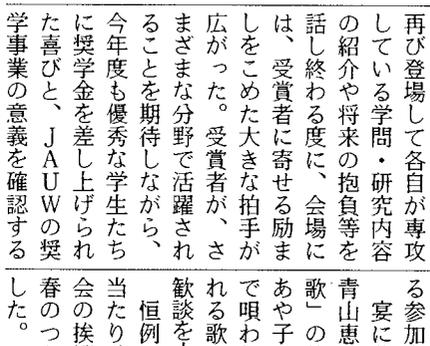
国内奨学委員会委員 小西 厚子

年頭行事の「J A U W 新春のつどい」が、1月12日、午前11時よりアルカディア市ヶ谷・富士のカディア市ヶ谷・富士の間において開かれた。遠く支部から駆けつけてくれた会員、97年度国木会長の挨拶が行われた。J A U W 山本会長の挨拶に続いて、I F U W 青年部の代表が、I F U W の組織の歴史に連なる私たちの存在理由を再認識させられた両会長のスピーチであった。続いて2001年度奨学金贈呈式が行われた。金子国内奨学委員長および玉井社会福祉委員長の選考経過報告があり、山本会長より受賞出席者一人ずつに賞状と奨学金が授与された。

その後、出席の奨学生を交えて和やかな談話が行われ、合間にI F U W の専攻分野を再確認する参加者の姿があった。宴に花を添えたのは、青山恵子さんの「日本の歌」の独唱だった。前島あや子さんのピアノ伴奏で唄われた日本情緒あふれる歌と美声に、しばし歓談を止めて聞きほれた。恒例の福引きは全員に当たり、加藤副会長の閉会の挨拶で、16回目の新春のつどいは無事に散会した。



左から五味国際奨学委員、マリネラさん、国内奨学生の島さん、今村さん



青山さんの美しい歌声、撫子のドレスがよく映えて

全国セミナーアンケート調査のまとめ

広報委員会

広報委員会では、会員から広く意見を聞き取るために、今回はじめて全国セミナーの内容・全体の進行・会場等についてセミナー参加者にアンケート調査を実施した。(配布数150名、回収58通、会員外の参加者からは1通)

○今日のセミナーを何で知りましたか？
ほぼ全員が会報、ご案内という答えであった。

○参加したプログラムについて

研究発表	よかった 25名	シンポジウム	よかった 35名
	普通 21名		普通 12名
	物足りない 5名		物足りない 7名

分科会については、「よかった」と答えた人が大半を占めたが、「物足りない」と答えた人も7名あった。セミナーのプログラムについては、今年度基調講演がなかったことを除いては、現状を支持する意見が大半を占めた。シンポジウムのパネリストについては、さまざまな意見が伺えてよかったという感想と共に、4人では時間的な制約もあり、お互いの意見交換ができず残念であったという声もあった。

○セミナーに参加した動機は、「テーマに関心があった」が11名、「J A U W の活動の一環として」が49名であった。

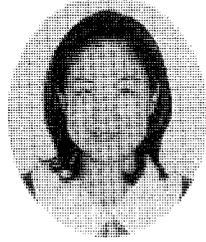
○会場については、都心から近い所を望むという意見が半数を占めている。しかし、又エックの環境の良さをあげる声もあった。

○費用の点では、満足との声が多かったが、食事内容や宿泊設備の質の高さを望む声も多かった。

○今後のセミナーに希望するテーマとしては、「高齢化社会」、「子どもの人権」、「教育問題」、「女性と労働」、「ジェンダー」、「情報社会における女性」等が挙げられた。

その他の感想で一番多かったのは、研究発表の時間が足りないという意見で、一方、限られた時間内の発表の工夫を求めるものもあった。他に、全ての発表にレジュメがあるとよかった、研究内容が充実していた、進行はおおむねスムーズではあったが、細かい点(マイク、照明等)については、反省点が指摘された。会場としては地方開催を望む声もあった。限られた紙面のため全ての意見を掲載できないのが残念であるが、今後のセミナーに役立つように活用したい。

△支部にこんな方が▽
 昨年5月、京都府地方労働委員会で全国初の女性会長に、しかも最年少で就任された佐賀千恵美会員をご紹介します。「ストーリー対応連絡ネット」の世話人でもあり、ご自分の事務所を窓口にご活躍です。



京都支部 佐賀 千恵美

で、少し緊張するが、「頑張る」とか「期待してるから」とか、好意的に声を掛けて下さるので、有難い。
 近ごろは、国も地方公共団体も、公職の女性のパーセンテージを上げようとしているので、むしろ女性だからこそ回ってくるチャンスが多くなってきたと思う。そういう時は、JAUWの会員として、積極的に受けたい。

△お誘い▽
 社会福祉委員会
 『森林浴と富弘美術館見学ツアー』
 新緑の美しい五月、わたらせ渓谷鉄道の車窓からの眺めを楽しみ、草木湖畔を散策して富弘美術館を訪れます。星野富弘氏の作品は水彩の詩画を通して、生命の尊さ、やさしさを語りかけます。この東村氏のふる里であり、野の草花や山々に詩情が溢れています。
 今回は社会福祉奨学生OG達と、殊にアイメイト(盲導犬)と一緒に加をお待ちしています。
 日時: 5月13日(月)
 詳細は後日お知らせいたします。(玉井)

△支部だより▽
 山本会長の講演会を「まつりアミカス」に乗せて
 福岡支部長 和栗 和子

2001年4月、JAUW総会の折、山本会長から今年九州各支部を歴訪したいとお話を受けた。総会でも、折角の好機に、広く一般に呼ばれる本部の方々の熱意を、支部会員に直接伝えたい。更に、「まつりアミカス2001」人と「ひと」に企画応募してはと発展して行きました。

募でしたが幸い予算もついて採用されました。10月27日、山本会長の講演は各方面から大変深い感動と高い評価を得る素晴らしいものでした。10日間の「まつりアミカス」に集う55団体との交流、講演会当日その他あらゆる機会を通じてJAUWの宣伝に努め、多くの方に当会のことを知っていただけたと思います。

新入会員お誘いに感謝して
 会員委員長 秋月 薫

霧囲気でも何っています。新年初めの会は、第10回となりました。左記のとおり開きますので、是非お気軽にお出かけください。
 尚、昨年九月から、卒業、米寿、傘寿をめでたく迎えられた会員に、お祝いのはがき(会員委員会手作り)を出しています。生年月日を届けてもらって、届かない方はどうぞお知らせください。

△お誘い▽
 大変だが、趣味の俳句で気分転換をしながら頑張っている。
 月光の蒼に鎮もる
 曼珠沙華
 千恵美

1年だけ東京地検で検事をしたが、京都で弁護士を始めて、15年目になる。
 去年(平成13年)、京都府の地労委の会長になった。地方労働委員会というのは、戦後まもなく各都道府県に作られ、労働組合と使用者の争いを扱う機関である。50年以上の地労委の歴史の中で、女性の会長は私が全国初で、現職では最年少(48歳)ということ、新聞にも取り上げられた。地労委の会長といえば「60歳の男性」というイメージなのである。
 労使関係を扱うので、日常の仕事上は女性を意識することは少ない。しかし、全国会議などでは、女性の私を見るとすぐ京都の会長だと分かるので、少し緊張するが、「頑張る」とか「期待してるから」とか、好意的に声を掛けて下さるので、有難い。
 近ごろは、国も地方公共団体も、公職の女性のパーセンテージを上げようとしているので、むしろ女性だからこそ回ってくるチャンスが多くなってきたと思う。そういう時は、JAUWの会員として、積極的に受けたい。

「まつりアミカス」というのは福岡市女性センター「アミカス」が毎年秋に開催している行事で、男女共同参画社会の実現を図るため、市民が自由な発想で企画運営して一緒に創りあげてまつりです。
 山本会長にお伺いを立てて快諾を得ました。暗中模索の応えをいただきました。

山本会長を囲んで、福岡支部の会員たち 筆者前列左端

山本会長は講演会に引き続き支部会員との懇親会でも、一人一人の会員を大切にされる気遣いを示され、支部会員一同心から喜び元気づけられました。
 これから先を繋ぎ、活動の輪を更に広げて行かなければと思うところ、長崎・福岡・熊本・大分と4支部を精力的に歴訪されました。お疲れ様でした。

山本会長は講演会に引き続き支部会員との懇親会でも、一人一人の会員を大切にされる気遣いを示され、支部会員一同心から喜び元気づけられました。
 これから先を繋ぎ、活動の輪を更に広げて行かなければと思うところ、長崎・福岡・熊本・大分と4支部を精力的に歴訪されました。お疲れ様でした。

山本会長は講演会に引き続き支部会員との懇親会でも、一人一人の会員を大切にされる気遣いを示され、支部会員一同心から喜び元気づけられました。
 これから先を繋ぎ、活動の輪を更に広げて行かなければと思うところ、長崎・福岡・熊本・大分と4支部を精力的に歴訪されました。お疲れ様でした。

霧囲気でも何っています。新年初めの会は、第10回となりました。左記のとおり開きますので、是非お気軽にお出かけください。
 尚、昨年九月から、卒業、米寿、傘寿をめでたく迎えられた会員に、お祝いのはがき(会員委員会手作り)を出しています。生年月日を届けてもらって、届かない方はどうぞお知らせください。

科学研究奨励委員会 講演会報告
 科学を身近なものとして捉える

科学研究奨励委員会 大野 涼

こと、科学の発見についてはSerendipity(思いがけない発見)という言葉が時々使われるが、その言葉の語源がセレンディップ(スリランカの古い名)の三人の王子が偶然の幸運に恵まれて発見を重ねていくというペルシヤのお伽噺「The Three Princes of Serendip」にちなんで作られたものであることなども紹介されました。

また、ポリアセチレンが電気を通す仕組みについて、ポリアセチレンの二重結合、化学ドーピングなど専門的な内容の解説と、最後に導電性高分子の応用について、開発途中である研究や、今後の可能性についてもご紹介いただきました。

長崎・福岡・熊本・大分と4支部を精力的に歴訪されました。お疲れ様でした。

科学研究奨励委員会は、新しい試みとして年に一度若い会員のためにScienceを啓蒙する目的の講演会を行うことを決め、第1回の講演会を東京支部との共催により12月12日(水)、東京ウィメンズプラザで行いました。講演は「電気を導くプラスチックの発見とノーベル賞」と題して島美喜子委員長(理学博士・東京女子大学名誉教授)によるもので、約60名の参加者を得て盛況に終わりました。

お話を要約すると、2000年のノーベル化学賞を受賞した白川英樹博士がアメリカ、ペンシルバニア

ア大学の二人の科学者と共同研究グループを形成するようになった経緯、および偶然の機会であったかというもので、博士らの受賞の対象となった研究は、1967年頃、ポリアセチレンフィルムの合成実験の際に、触媒量を間違えて行った実験が端緒となったこと、などとともに化学繊維の開発にまつわるエピソードを交えながら、導電性プラスチックがどのようにして生まれ、たかについて、お話を進められました。

電流が流れるというところは、物質内の自由電子が移動するために起こる

熱心に語る島委員長

お話を要約すると、2000年のノーベル化学賞を受賞した白川英樹博士がアメリカ、ペンシルバニア

ア大学の二人の科学者と共同研究グループを形成するようになった経緯、および偶然の機会であったかというもので、博士らの受賞の対象となった研究は、1967年頃、ポリアセチレンフィルムの合成実験の際に、触媒量を間違えて行った実験が端緒となったこと、などとともに化学繊維の開発にまつわるエピソードを交えながら、導電性プラスチックがどのようにして生まれ、たかについて、お話を進められました。

電流が流れるというところは、物質内の自由電子が移動するために起こる

熱心に語る島委員長

熱心に語る島委員長

新入会員 (21名) 2001年11月~2002年1月 理事会承認

群馬支部	阿部 知世 (早・横国)	373-0016	太田市矢田堀町265-8
東京支部	岡部 道子 (日女)	150-0001	渋谷区神宮前2-28-4
我喜屋	まり子 (ハーバード)	131-0043	墨田区立花6-5-9
桂	美穂子 (奈女)	182-0004	調布市入間町1-24-39
古山	みゆき (日女)	215-0013	川崎市麻生区王禅寺西1-36-6
野本	美智子 (茶)	332-0012	川口市本町4-13-3-1302
神奈川支部	和子 (日本)	178-0064	練馬区南大泉5-31-30
葉山	美知子 (茶)	247-0022	横浜市栄区戸戸2-1-17
愛知支部	竹内 清美 (名古屋、浜松区)	456-0027	名古屋市熱田区旗屋2-21-25 白鳥パークハイツ神宮西312
京都支部	藤村 芳江 (大女)	621-0042	亀岡市千代川町高野林西ノ畑27番
佐吉	裕子 (奈女)	603-8303	京都市北区紫野十二坊町7-24
大阪支部	青木 有子 (大薬)	534-0024	大阪市都島区東野田町2-2-21
大西	節子 (大薬)	589-0023	大阪狭山市大野台1-9-15
面谷	真喜子 (大薬)	545-0013	大阪市阿倍野区長池町13-9
加茂	和子 (大薬)	665-0803	宝塚市花屋敷つつじが丘9-5
中山	春江 (日女)	545-0004	大阪市阿倍野区文の里4-17-23
山内	眞理子 (聖)	547-0032	大阪市平野区流町3-14-1
山本	眞理子 (日女)	659-0096	芦屋市山手町22-16
神戸支部	近藤 慶子 (京女)	670-0876	姫路市西八代町17-17
福岡支部	梅居 孝江 (日女)	810-0014	福岡市中央区平尾5-15-17
清水	榮 (日女)	814-0171	福岡市早良区野芥1-24-3

JA U Wホームページに簡単にアクセスできます
 本会のホームページが、Yahoo!登録サイトに入りました(教育>高等教育>団体のカテゴリ)。ホームページアドレスを入力しなくても、Yahooの検索にJA U Wまたは大学婦人協会と入力すればアクセスできますのでお試しください。

婚礼・宴会・宿泊・レストラン

ご婚礼、ご宴会をはじめ出張パーティも承っております。東京でのご滞在、お食事にもご利用くださいませ。

10年・20年・30年...
 愛をはぐくまれてきたあ2人の記念に.....

アンバーサリーフォトスラン「パール」
 ご夫妻、あ2人様の合計年齢が88歳以上の皆様にアンバーサリーフォトプラン「パール」をご用意いたしました。リーズナブルな料金で衣裳・着付け・美容から写真までお撮りいただけるプランです。
 スラン価格.....100,000円(税別)

アルカディア市ヶ谷
 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 TEL 03-3261-9921
 JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線) 市ヶ谷駅 徒歩2分
 http://www.arcadia-jp.org

霧囲気でも何っています。新年初めの会は、第10回となりました。左記のとおり開きますので、是非お気軽にお出かけください。
 尚、昨年九月から、卒業、米寿、傘寿をめでたく迎えられた会員に、お祝いのはがき(会員委員会手作り)を出しています。生年月日を届けてもらって、届かない方はどうぞお知らせください。